

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	腹腔鏡下大腸切除術の治療成績に関する後方視的研究
研究責任者	聖隷浜松病院 大腸肛門科 小林靖幸
研究実施体制	【研究実施機関】聖隷浜松病院 【研究責任者】大腸肛門科 小林靖幸 【研究分担者】大腸肛門科 浜野孝、佐藤純人、鳥居翔
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2030 年 5 月 31 日
対象者	2006 年 4 月から 2030 年 3 月までの間に聖隷浜松病院大腸肛門科に通院または入院した大腸疾患患者さん。
研究の意義・目的	腹腔鏡下大腸切除術は従来の開腹手術と比較して、出血量が少なく、術後疼痛が小さく、早期社会復帰を実現できると考えられています。さらに、近年ではロボット支援腹腔鏡下手術が普及し、周術期合併症が少なく、術後 QOL(Quality of Life)を改善できることが期待されています。今回、当院における腹腔鏡下大腸切除術の治療成績を明らかにし、術式の改善に役立てることを目的としました。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 ・患者背景:年齢、性別、身長、体重、既往歴、飲酒・喫煙歴、内服薬 ・術前検査結果:血液検査、生理機能検査、超音波検査、レントゲン・CT・MRI・PET 検査、大腸内視鏡検査、病理学的検査 ・手術所見:手術日、術式、術式選択理由、手術時間、出血量、輸血の有無、術中合併症、術後合併症、術後在院期間、病理診断 ・術後サーベイランス:転帰、予後
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 大腸肛門科 (氏名) 鳥居 翔 TEL:053-474-2222(代表) 大腸肛門科外来 9:00～17:00 平日